

感染症の予防及びまん延防止のための指針

1. 基本方針

安芸高田市医師会訪問看護ステーション（以下、事業所）は、利用者及び利用者家族や職員（以下、利用者等）の安全確保のため、平常時から感染症の予防に十分留意するとともに、感染症発生時は拡大しないよう、速やかに対応する体制を構築するとともに、利用者等の健康と安全を継続的に守るため、本指針を定めるものとする。

2. 注意すべき主な感染症

事業所が予め対応策を検討しておくべき主な感染症は以下のとおりである。

(1) 利用者等にも感染が起こり、媒介者となりうる感染症・集団感染を起こす可能性がある感染症

インフルエンザ、新型コロナウイルス、感染性胃腸炎（ノロウイルス感染症、腸管出血性大腸菌感染症等）、疥癬、結核 等

(2) 感染抵抗性の低下した人に発生しやすい感染症

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症（MRSA 感染症）、緑膿菌感染症 等

(3) 血液、体液を介して感染する感染症

肝炎（B 型肝炎、C 型肝炎） 等

3. 平常時の対応

「感染予防対策マニュアル」に準じて対応する。

1) 事業所内の衛生管理

(1) 感染症の予防及びまん延防止のため、事業所内の衛生保持に努める。

(2) 常に整理整頓を心掛け、換気、清掃、消毒を定期的実施し、清潔の保持に努める。

2) 利用者の健康管理

(1) 既往歴やワクチン接種状況を把握する。

(2) 日常生活を観察し、体調の把握に努める。

(3) 体調、様子等を共有する方法を確認する。

(4) 利用者及び利用者家族に感染予防対策について教育、指導する。

(5) 利用者及び利用者家族の感染予防対策実施状況を把握し、不足している内容を支援する。

3) 職員の健康管理

- (1) 感染症の既往歴やワクチン接種状況を把握する。
- (2) 体調把握に努め、体調不良時は管理者に報告する。
- (3) 感染予防対策等の知識を評価し、不足している内容を教育、指導する。
- (4) 業務中に感染した場合は、速やかに管理者へ報告する。

4) 感染予防と対策

- (1) 職員の標準的な感染対策として、検温、手洗い、手指消毒、うがい、勤務中のマスク着用を行う。
- (2) 血液、体液、排泄物等を扱う場面では細心の注意を払い、直接手指に触れないように使い捨て手袋を使用する。
- (3) 利用者の異常の兆候をできるだけ早く発見するために、利用者の健康状態を常に注意深く観察する。異常症状を発見した場合は、家族や主治医等に連絡する。
- (4) 必要な物品を確保し、適切な方法で管理する。

4. 感染症発生時の対応

感染症が発生した場合は、まん延防止のため速やかに対応する。

1) 発生状況の把握

- (1) 感染者及び感染疑い者の状況を把握し、情報を共有する。
- (2) 感染者及び感染疑い者の感染原因や感染ルート、行動の把握等必要な情報収集を行う。

2) 感染拡大の防止

- (1) 感染者及び感染疑い者の対処方法を確認し、周知、指導する。
- (2) 感染者及び感染疑い者の支援方法を確認する。
- (3) 感染状況を本人へ説明し、感染対策（マスク着用、手指消毒、行動制限 等）の協力を依頼する。
- (4) 感染者及び感染疑い者と接触した関係者（職員、家族 等）の体調を確認する。
- (5) ウイルスや細菌に効果的な消毒薬を選定し、消毒を行う。

3) 関係機関との連携

(1) 医療機関との連携

- ①感染者及び感染疑い者の状態を報告し、対処方法を確認する。
- ②医療機関からの指示内容を法人・事業所内で共有する。

(2) 保健所との連携

- ①疾病の種類、状況により報告を検討する。
- ②感染者及び感染疑い者の状況を報告し、指示を確認する。
- ③保健所からの指示内容を全職員で共有する。

(3) 行政関係機関との連携

- ①報告の必要性について検討する。
- ②感染者及び感染疑い者の状況を報告し、指示を確認する。

5. 感染対策委員会の設置

事業所内での感染症の発生を未然に防止するとともに、発生時における利用者等への適切な対応を行うため、感染対策委員会（以下、委員会）を設置する。

- (1) 事業所における委員会の運営責任者は管理者とし、当該者を以て「専任の感染対策を担当する者」（以下、担当者）とする。
- (2) 委員会の開催にあたっては、月1回開催の運営会議内で定期的（年2回以上）に、かつ必要な場合に担当者が招集する。
- (3) 委員会の議題は、担当者が定める。具体的には、次に掲げる内容について協議するものとする。

- ①事業所内感染対策の立案
- ②指針・マニュアル等の整備・更新
- ③利用者等の健康状態の把握
- ④感染症発生時の措置（対応・報告）
- ⑤研修・教育計画の策定及び実施
- ⑥感染症対策実施状況の把握及び評価

6. 職員に対する研修の実施

事業所は勤務する職員に対し、感染症対策の基礎的内容等の知識の普及や啓発に併せ、衛生管理の徹底や衛生的ケアの励行を目的とした「感染症の予防及びまん延の防止のための研修」及び「訓練（シミュレーション）」を次のとおり実施する。

1) 新規採用時研修

新規採用時に感染対策の基礎に関する教育を行う。

2) 定期的研修

感染対策に関する定期的な研修を年2回以上実施する。

3) 訓練（シミュレーション）

事業所内で感染症が発生した場合に備えた訓練を年1回以上実施する。

7. 指針の閲覧

「感染症の予防及びまん延の防止のための指針」は、求めに応じていつでも事業所内で閲覧できるようにする。またホームページ等にも公表し、利用者及び利用者家族がいつでも自由に閲覧できるようにする。

附則

この指針は、令和6年4月1日より施行する。